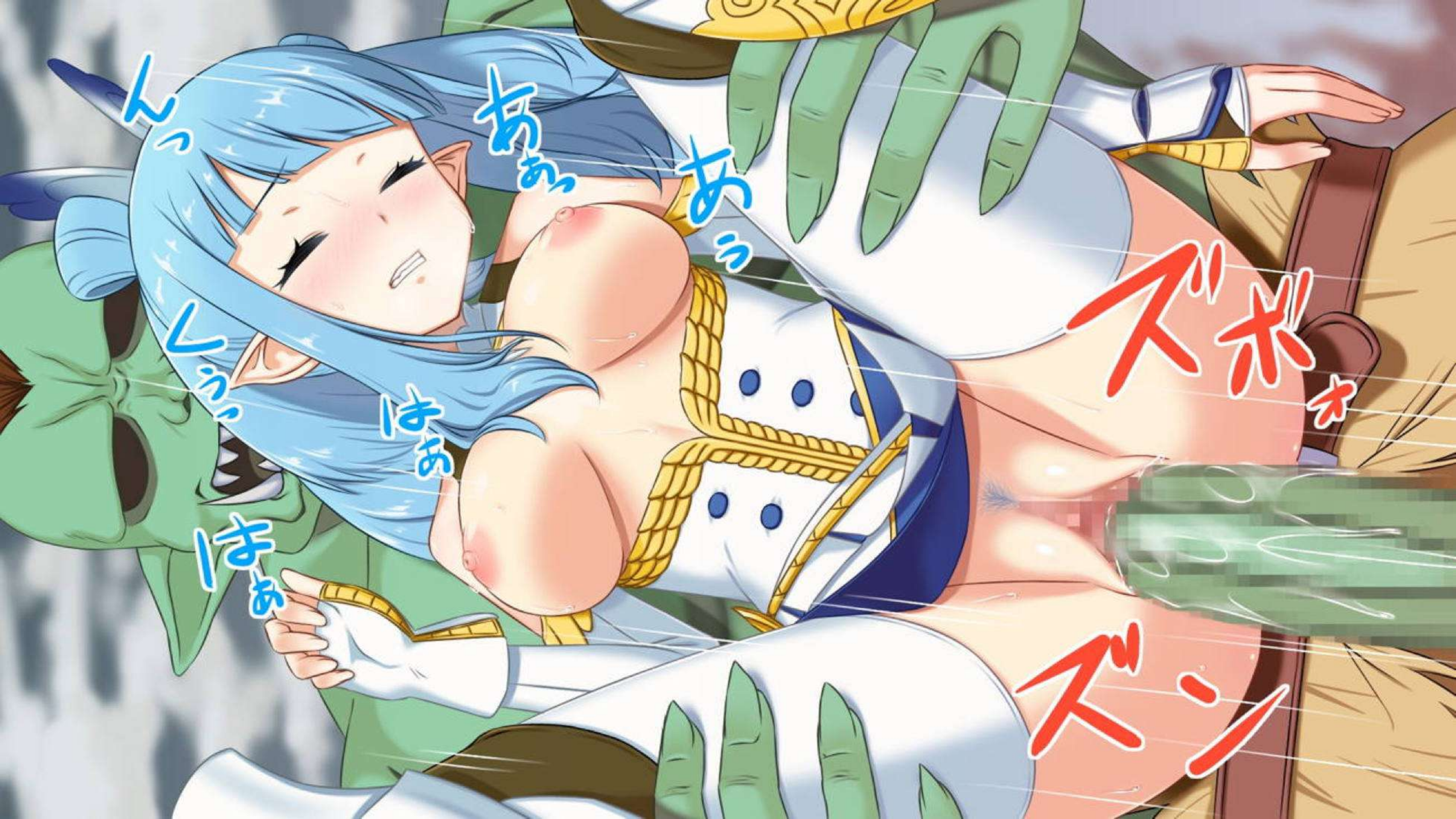


「放せっ！放しなさい！」

「私はこのようなどころで倒れるわけには！」



んっ

あぁ

あー

くわっ

はぁ

はぁ

ズキ

ズン



やああ
ああ

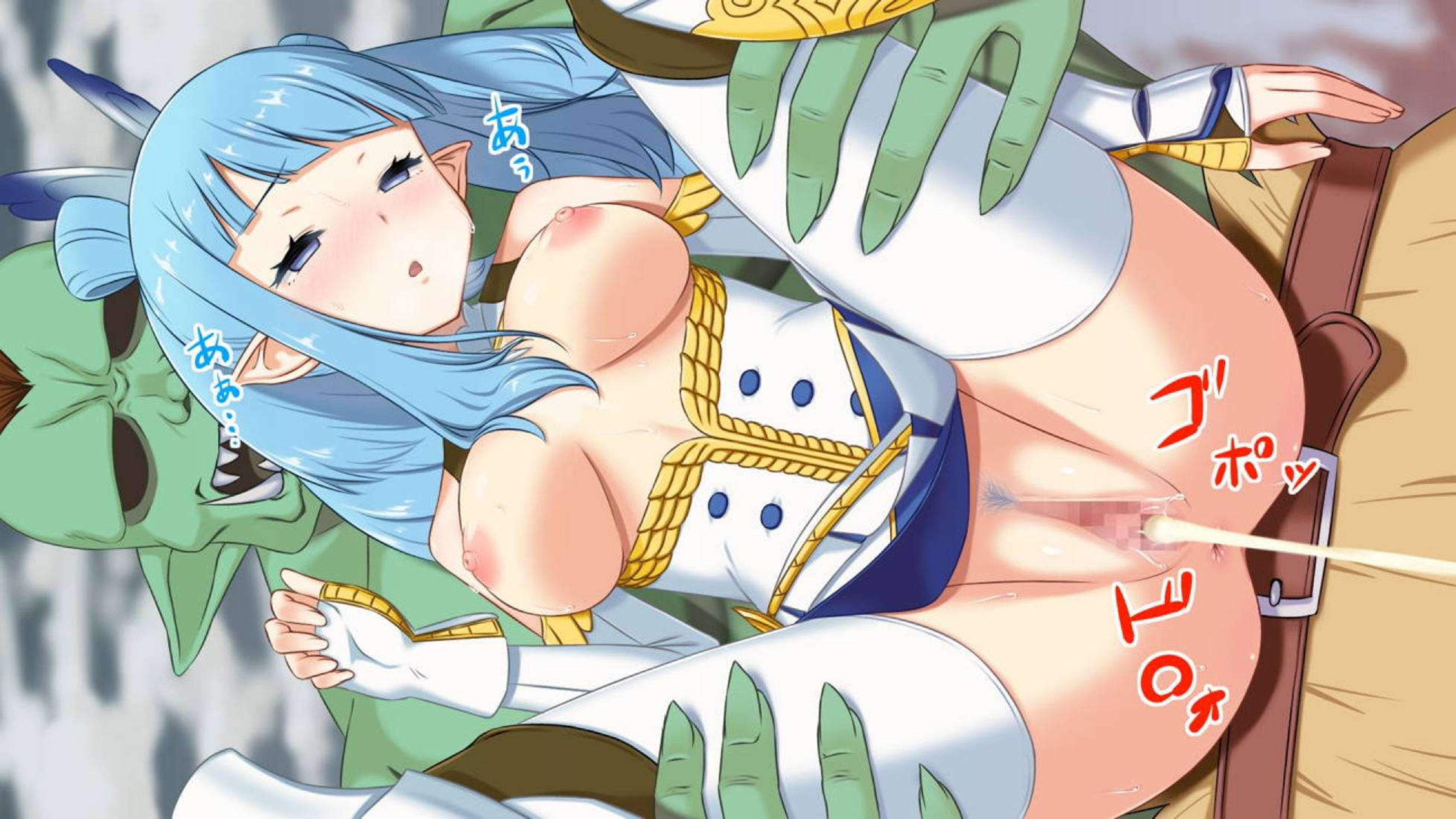
トッ
グググ

グググ

ん

ん

ん



(この魔物たち
力が増している………?)

ハッ!!

「なにをするつもりなのです!!
やめっ………」





はぁん

く

はぁ

あ

ハ

ズ

ズ

ズ



(「」までいいように
されてしまおうなんて……)

ふー

ふー

でも今は助けが来ると信じて
耐えるしかありませんね

ドロオ



「……」までなの……？
こいつらに慰み者にされて
終わるの……？」

ギリッ



はあ

うん

あ

あ

あ

ぐ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



あ

あ

あ

あ

っ

ぐ
ぐ
ぐ
ぐ
ぐ

ぐ
ぐ
ぐ
ぐ
ぐ



ごめんなさい
私はここままでみたい.....

フォオ

ゴポ

さー

さー

「ほら！出すもん出しなさいよ！」

「何を？って……鈍いわねー
アランダにはいるいる助けてもらったから
アタシ自らお礼してあげるって言ったの」

アッ



「ちよ、激しすぎ！
がつつくくなあ！」

あっ

アッ

あっ

はっ

あっ

んっ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ







「中に聞すなんて……
出来ちやったら
どうすんのよ♡」

ト
ト

「私を捕らえて
何をしようとしていらのですか?」

「悪い」とは言いません
こんなことは
今すぐやめてください!」



「いけません
あっ、こんなこと
はやく、やめ……」

ん

あっ

ん

ん
ん

↓

↓

ん
ん
ん



(なんのつもりでこんなことを……
とにかく気をしっかり持たなければ)

タラッ





「リーダーのもの
こんなにカチカチですよ♡」

「私に任せてくださいいね」

「リーダー
ここに好きですよね」

あ

ん

ん

ん









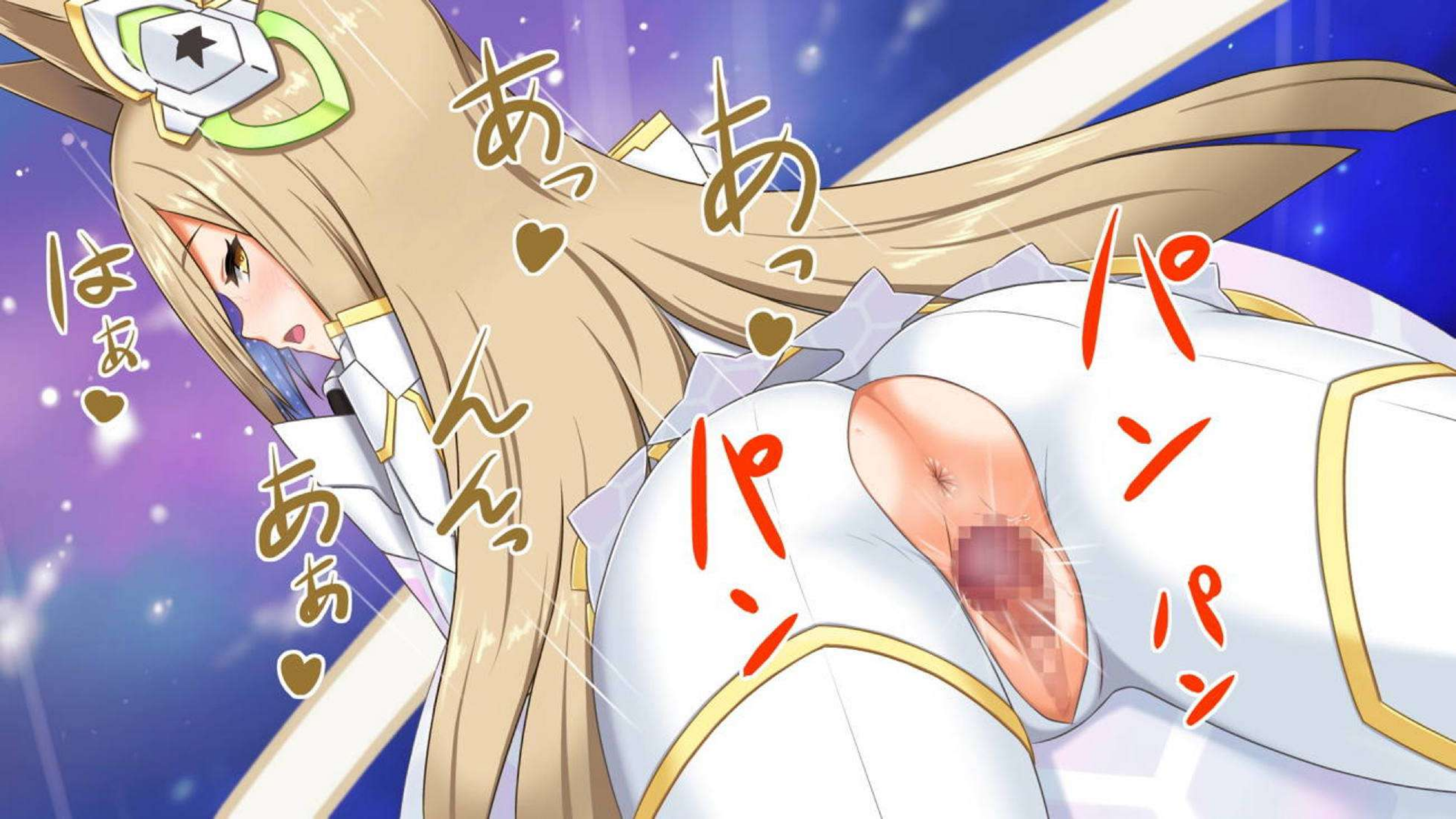
「口の中いっぱいになった
ちやいまいました♡」

フォオ



「この身体でも
そういうことできるのかな」

「ためしてみよっか？」



あー
あー



んんん

はあ

ああ



ぴん

ぴん

ぴん

ぴん





「いやーできるもんだねえ
よかつたらまた……する？」

ハア

ハア

ゴホ

ゴホ



「ええっ今から!!
ライブ前なんだから
早く終わらせてよね」

ほあ





「これからライブだって
言ったのに
こんなに出すなんて……」

ゴォ

ゴポッ



「ちよ……っ
何してるんですか!!」

「まさか今やるつもりなんですか？
……うう、仕方ないですね」



あああ

あああ

あああ

あああ

あああ

あああ

あああ



「急にするなんて……」

ふー

ふー

「え、私の水着が可愛かった……から？」

「きよよ、恐縮です」

トコロ

「お菓子持ってないから、ね」

「いたずら…
していいよ？」

くぱあ♡





あっ
あっ
あっ

アッ

あっ
あっ

アッ
アッ

アッ
アッ

あっ
あっ

あっ
あっ

あっ
あっ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ



「本物の私も
同じこと望んでると
思うから……
よろしくね♡」

はー

はー

トロオ